

# 教育委員会広報紙 NO.1

～東小学校の学校教育の未来について～

令和4年8月26日発行  
 富士市教育委員会  
 教育総務課 教育政策担当  
 TEL:0545-55-2865 FAX:0545-55-8584  
 e-mail:kyouiku@div.city.fuji.shizuoka.jp

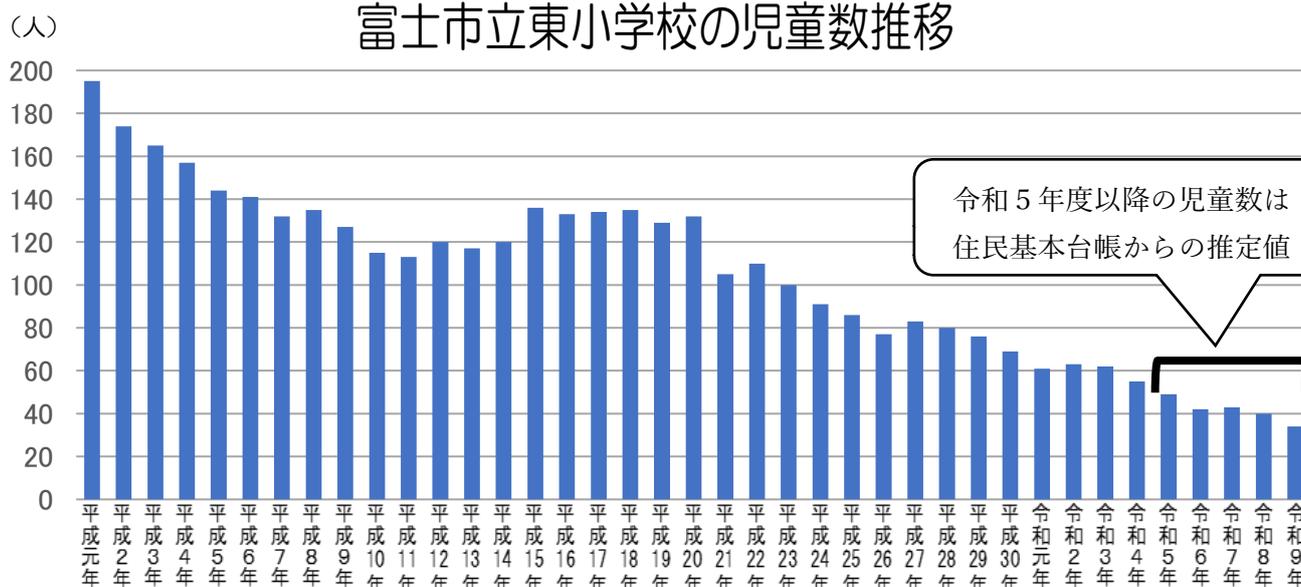
## 富士市立東小学校の学校規模の現状について

富士市教育委員会では、「富士市立小中学校適正規模・適正配置基本方針」に基づき、富士市立東小学校の学校規模の適正化に関する話し合いを始めております。

現在までに「東小学校区における学校教育の未来を考える会（以下『考える会』）」を、2度（第1回 R3. 4. 22 第2回 R4. 7. 15）開催し、以下のような東小学校の児童数の推移に関する資料を基に、参加者からご意見を伺いました。



### 富士市立東小学校の児童数推移



### 須津中学校区の児童生徒数学年別推計

	未就学児の人数※1					小学校児童数※2						須津中生徒数※2			
	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	1年	2年	3年	4年	5年	6年	1年	2年	3年
東小校区	4	4	11	5	9	9	6	12	9	6	9	13	111	128	114
須津小校区	56	48	64	76	85	74	92	85	96	96	95	104			

※1 未就学児の人数は令和4年4月1日現在の「町内別年齢別集計データ」からの抜粋です。1月～12月までの年計算のため、4月～3月までの年度計算となる実際の児童予定数とは、若干の相違があります。

※2 小・中学生の人数は、令和4年5月2日現在のものです。

### 【第1回で出された主な意見】

- 学校は地域とつながっている。東小学校がなくなってしまうと、この地区がなくなってしまうかもしれないという不安がある。
- 学校で行事があるときは、保護者や地域の方も必ず協力してくれ、最高の環境にあると思う。
- 浮島地区に引っ越してきたが、子どもたちはのびのびしていて、地域も協力的だと感じている。コミュニティ・スクールになり、地域と学校が一体となってさらに盛り上げていこうという雰囲気がある。この小学校の環境は簡単に作れるものではない。
- この地域が市街化調整区域になったのは、地域がそれを望んだからだ。市街化調整区域になったことで、新規に建物は建てられなくなったが、課税上の恩恵も受けている。
- 地域の人口が増えなければ、もちろん子どもの人数も増えることはない。しかし、この学校がなくなってほしくない。
- 小規模校には、メリットもあるがデメリットもある。その両方を挙げ、そのうえで検討すべきだろう。どちらがよいか、はっきり見る必要がある。



### 【第2回で出された主な意見】

- 保護者としては、この学校がなくなってしまうとほしくない。だが、学校に通うのは子どもなので、「子どもにとってどうなのか」を考える必要がある。
- 浮島地区では「地区計画」を進めているが、地区住民への認知度は残念ながら低い。また、その成果は10年から20年かかるような制度である。
- 小学校がなくなってしまうと、地域のコミュニティの核がなくなってしまう。浮島地区の良さをもっとPRしていきたい。
- もし、東小学校が須津小に編入統合されると、徒歩で登下校するには距離が長すぎる。
- 学校の編入統合は大きなことなので、賛否両論あると思う。地域住民や保護者など、様々な方々と、じっくり話し合うことが必要だと思う。
- 浮島地区について、もっと地域ぐるみで話し合わなければならない。自分たちでまちをつくるという意識を持ち、危機感をもたないといけない。



第2回の最後には、今後も継続して「考える会」を開催していくことを確認して閉会しました。

学校の主役は子どもたちです。児童数が減少していくことが確実視されている中、子どもたちの豊かな学びや様々な経験の機会をどのように担保していくのか、多くの方と話し合っていくことが大切だと考えています。

富士市公式ウェブサイトにも、関連情報を載せております。  
この件についてのご意見がありましたら、富士市教育委員会教育総務課までご連絡ください。

kyouiku@div.city.fuji.shi



教育総務課メールアドレス

富士市公式ウェブサイト 富士市公式ウ



富士市公式ウェブサイト